

## オンライン会議

理事長 橋本 久雄

あけましておめでとうございます。猛威を振るった新型コロナウイルスによる感染症問題も昨年10月頃からやっと収束に向かいほっとしたのも束の間、オミクロン株という新たな変異ウイルスが猛威を振るう兆しを見せておりますので、十分気を付けていただきたいと思っております。今こそ、感染予防の三原則を改めて確認して欲しいと思っております。

○密閉→室内の換気をよくする。○密集→大勢の人が一度にたくさん集まらない。

○密接→1メートル以内に人同士が近寄らない。

以上のことをベースに、マスクをする。うがいや手洗いをこまめに徹底して行う。そして、各家庭や職場で換気を定期的に行うでしたね。

各クラブでも、児童の皆さんが感染しないよう以上のことを徹底してまいります。一方、各家庭におきましても、バランスのよい食事、十分な睡眠など免疫力を高めるための工夫もしていただければ幸いです。本年も充実した楽しいクラブを目指してまいります。

さて、冒頭が長くなりましたが、昨年10月から各クラブと事務局をインターネットで結ぶオンラインシステムを構築しました。これは、各クラブの事務量を軽減することにより、子ども達への支援の時間を一層確保しようという目的によるものです。

過日、開通テストを行いまして、10月27日(水)に第一回のオンラインによる職員会議を行いました。私は、都合で自宅のパソコンから会議に参加したのですが、会議に遅刻をしてしまいました。これは操作の単純ミスでデジタル化の隘路をしみじみ感じた次第です。

また、昨年市内小学校の全児童に学習用タブレット型端末が貸与されましたので、児童一人一人が学校の情報を学童クラブから得られるということも想定しており、無線LANの工事も進めております。

なお、タブレット端末につきましては、学校から児童が使う際の留意事項が示されていますが、便利な反面、使い方を間違えやすくと大変な事態が起こる可能性もあります。アカウントの管理、監視方法そして機能制限等をしっかりと確認し見届けたいと思っております。それでは保護者の皆様、支援に当たる職員の皆さんがこの1年、健やかに過ごされますことを心から祈念いたします。

令和4年1月号 一目次

学童クラブの食育

俳句・川柳！詠ってみました！ あおげわくわくクラブ編

伝承遊び～お正月～ つばめクラブ編

2～5頁

6頁

7頁

# 学童クラブの『食育』

学童で提供している「食」をテーマに、現状とこれからの取組みをご紹介します

学童クラブでは、毎日のおやつのほか、年に5回ほどお弁当や様々な行事にあわせてケーキや特別なお菓子を子ども達に提供しています。

ケーキの提供については、久喜市で学童保育が始まったころ、子ども達を喜ばせようと大きなホールケーキを用意したところ、子ども達が大喜びをしたところから、学童クラブでのケーキ提供が慣習化したという逸話があります。

それはさておき、学童クラブの支援員は、子ども達が喜んで、美味しそうに食べる姿を見るのが何より嬉しいと語っています。

そこで、今回はいくつかのクラブを例に、昨年の12月に実際に提供したおやつやお弁当を取り上げ食育の観点から支援員のおやつによせる思いや、お弁当の献立を決めるにいたった経緯、そして子ども達の意見や感想などをご紹介します。

## ●ネットでおやつ購入、空いた時間を有効活用。地産地消の取組みも。

各クラブでは、これまでスーパーなどに毎日おやつの買出しに行くことが当たり前となってきましたが、インターネットの導入を機に、ネットショッピングを活用するようになってきました。これは、これまで買い物に充てていた時間を、クラブミーティングや保育の準備、事務作業等に充てることで、保育の質の向上を目指す取り組みの一環でもあります。

協議会事務局では、生協をはじめイトーヨーカドーやイオン等が行っているネットショッピングに関する情報を各クラブに伝えたり、参考献立を提示したりすることで、各クラブへの支援を行っています。

こうした一方で、事務局では地元産品の購入も各クラブに働き掛けています。地元ならではの特産品やお菓子などの購入は、「地産地消」や「郷土愛」にも通じることから、積極的に購入するよう働きかけています。

## 寒い時には温かいものを

### ●清久もみじクラブ <12月16日(木)のおやつ>

清久もみじクラブの在籍児童数は21人で、現在、おやつの殆どを生協のネットショッピングで購入しています。

この日の献立は、①牛めしおにぎり、②ヨーグルト又はゼリー（リンゴ・グレープ）、③ミニチョコチップの3種類で、1人分の総カロリーは約230Kcalでした。

日の入りが早いこの時期は、先に外遊びをしてからおやつとなるため、午後4時10分頃からおやつタイムが始まりました。子ども達は順序良く並んで自分でおやつをお皿に載せます。

全員が席に着いたところで、この日の当番さんが「いただきます」と言って会食が始まりました。本来であれば、賑やかな話し声が飛び交うところですが、コロナ禍ということでこの日も席の間隔をあけての黙食でした。

さて、この日の献立を選んだ理由について支援員は、「牛めしおにぎりは初めてでしたが、冬なので温かいものを食べさせてあげたかったこと。ヨーグルトは栄養面も考えて。ゼリーを用意したのは乳アレルギーのある子への配慮もあります。なるべく皆と同じものを食べられるようにしました」とのことでした。

また、日々のおやつ選びで苦労していることは、「袋入数の関係から、人数分をそろえるため余分に買わざるを得ないこと。子どもが好きだろうと思って選んだものが、意外と不人気だったりすることです。



カロリーと栄養のバランスを考えたおやつ

また、工夫していることは、「寒い時期は温かいものを、暑い時期は冷たいものをと季節にあったおやつを用意していること。スナック菓子は1種類だけでなく、数種類用意して選べるようにしていること。新商品を取入れてメニューの幅を増やしていること」と語っていました。

この日のおやつについて、子ども達の意見や感想を聞いてみたところ、「おにぎりが温かくて、具が入っていてこれまでで一番美味しかった。グレープのゼリーもよかった」「チョコチップがサクサクして美味しかった。たまに出るお団子は、ねちょねちょするので苦手」「全部美味しかった」などの感想が聞かれました。

支援員は、「生協が扱っているものには安心感を感じます。なるべく国産のものを意識して購入するようにしています。コロナ禍が収まれば一手間加えたおやつや果物も提供していきたいです」とのことと、今後も子ども達の意見を参考に、栄養面や衛生面を考えながら、みんなが楽しめるおやつタイムを提供していきたいと抱負を語っていました。



間隔をあけ並んでおやつをとる児童の様子

## スナック菓子でもなるべく体に良いものを

### ●鷺宮中央学童クラブ・ひまわり <12月17日(金)のおやつ>

鷺宮中央学童クラブ・ひまわりの在籍児童数は41人ですが、この日は学校行事のため欠席者が多く22人でした。クラブでは現在、週3日分のおやつを生協で購入しています。

この日のおやつの献立は、①クリームパン又はバターチョコステック、②おやさいポテト、③アポロ(チョコ菓子)、④リンゴの4種類で、1人分の総カロリーは約275Kcalでした。

この日のおやつタイムは、午後4時10分頃から始まりました。この日の献立について、支援員は「生協で新しいカルシウム入りのポテト菓子がでたので試してみました。献立は食感のバランスと味のバリエーションを考えながら選んでいます。それと週に1回は果物を出すようにしていて、今日はリンゴにしました」とのことでした。

好評だったカルシウム入りのポテト菓子とリンゴ。他にパンとアポロチョコ。



「いただきます」をする当番4人と児童たち

また、日々のおやつ選びで苦労していること、工夫していることは、「食物アレルギーがある子が3人いるので、代替食を用意すること。生協の商品はその点アレルギー表示が見やすいと思います。なるべく新しく出た商品を選び、おやつに変化をつけるようにしています」と語っていました。

子ども達の意見や感想を聞いてみると、「ポテトスナックが初めての味で美味しかった。リンゴが好きなのでよかった。アポロチョコも美味しかった」「アポロチョコが大好き。リンゴも美味しかった」「リンゴは美味しかったけど、チョコは苦手なので取らなかった。アイスが出る日が楽しみ」などの感想がきかれました。

クラブでは、「スナック菓子でもなるべく体に良いものを選んでいきます。今後は行事にあわせて、トッピングだけでもいいから手作りおやつを取り入れたい。最近の子どもは食に関心を示さない傾向があるので、食に関心をもってもらえるような取り組みをしたい。子どものリクエストも加味しながら、みんなが楽しめるおやつを提供していきたい」と抱負を語っていました。

## クリスマス気分を盛り上げるケーキのおやつ

### ●小林・栢間学童クラブ <12月20日(月)のクリスマス会>

小林・栢間学童クラブの在籍児童数は39人で、この日はクラブ行事としてクリスマス会が行われました。子ども達と支援員は、この日のために約2週間前から少しずつ準備を進めてきました。

会では、5年生児童2人が総合司会を務め、クイズやダンス、歌のほか、ハンドベルや三味線の演奏など10の演目が披露され、子ども達は普段とは一味違った楽しいひと時を過ごしました。

「最初は面倒くさいと言っていた子たちも、クリスマス会が近づくと積極的に意見を出し合うようになって気分が盛り上がり、クッキーダンスを披露する1年生グループきました。普段は引っ込み思案の子も、ちょっとした変装や衣装を着ることで、私たちがびっくりするほど人前で大きな声が出せるようになるんですよ。保護者の方に話すと驚くこともあります」と支援員は話します。

1時間ほどレクを楽しんだ後におやつとなりました。この日の献立のメインはケーキでした。予め希望を聞いたうえで4種類のケーキが用意されました。この他にも持ち帰りもできるようにと紙パックジュース、アポロチョコ、ポテトスナックの3種も用意されました。

この日の子ども達の意見や感想を聞いてみると、「レクは楽しかった。今日は席も仲良し同士で座れたので良かった」や「ケーキはみんなで一緒に食べるとよけい美味しく感じる」「今日は外で遊べなかったのが残念だったけど、楽しかった」等の意見がありました。

クラブでは、子ども達の自主性を尊重して、この日の出し物を決めたとのことで、おやつについても、みんなが全て同じものでなく一人ひとりが好みのものを選ぶよう、1つのジャンルでも2種類以上用意するとのことです。

クラブでは現在、週の内2日分のおやつを生協のネットショッピングで購入していますが、今後も、食物アレルギーに注意を払いながら、味のバランスや栄養面、子どもの好みなども配慮したおやつを用意していきたいと語っていました。



仲良し同士で食べるケーキは普段より美味しい♪

## 食物アレルギーに配慮した特製お弁当で、みんな一緒に

### ●久喜児童クラブ <12月24日(金)の昼食提供>

久喜児童クラブの在籍児童数は113人で、この日は児童全員に昼食としてランチボックスの弁当が提供されました。弁当の予算は1人500円で栄養のバランスも考えた中身となっています。

この日のご飯のおかずは、

①ハンバーグ、②鶏の唐揚げ、③玉子焼き、④ウインナーソーセージ、⑤フライドポテト、⑥スパゲティ、⑦枝豆コーンソテー、⑧たこ焼き、⑨マスカットゼリーと子どもの好物を中心とした9品目と見た目も賑やかでした。また、乳と卵にアレルギーのある児童には、玉子焼きとたこ焼きに代わってハンバーグと唐揚げがそれぞれ2個ずつ入ることで、見た目は殆ど変わらない弁当となりました。

一度に100食以上の弁当が作れて、配達までしてくれる業者は少ないようで、クラブでは初めて注文する業者ということもあって、約1ヶ月前から店の栄養士の方と相談をしながらメニューを決めるなどこの日の準備を進めてきました。最も気を使ったのが、食物アレルギーのある児童への対応で、なる

写真右がアレルギー対応食。玉子焼きとたこ焼きの代わりにハンバーグと唐揚げ



べく皆と同じお弁当が食べられるよう配慮したそうです。そのため該当児童の保護者へは事前に食品の成分表をお渡しすることで、安心していただけるようにもしたそうです。

子ども達の見聞や感想を聞いてみると、「皆、大好きなものばかり」「美味しそう」「みんなと食

べるとレストランで食べているような気になる」「お腹がすいた。早く食べたい」などの声が聞かれ、多くの児童が完食していました。

クラブでは、「昼食提供は、保護者のお弁当作りの負担が軽減され喜ばれています。メニューも単調にならないよう、お弁当屋さん、外食チェーンのお弁当などを支援員で話し合いながらお店やメニュー等を決めています。当日、配達してもらえるかも考慮しています。今後も栄養面や安全面に配慮しながら、子ども達が楽しめる昼食を提供していきたい」と抱負を語っていました。



楽しみにしていたお弁当タイム♪



### ●これからの取組はSDGsを意識して

協議会では、「食育」への取組の1つとしてSDGsをキーワードとしています。協議会では、令和3年9月から毎月1回職員向けの「おやつ通信」を発行していますが、第1回の特集が「SDGs」でした。まずは「SDGsとは何か」を職員一人ひとりが理解し、未来を担う子ども達のために、自ら取り組むとともに、SDGsに取り組んでいる企業を応援していきたいと考えています。

具体的には、商品輸送時に発生する二酸化炭素削減に取り組んでいる企業、チョコレートの原料カカオ豆の栽培地域における貧困・児童労働や教育支援を行っている企業の製品を紹介したり、購入を促す取り組みなどを行っています。

また、これらとは別に、子ども達への栄養面の配慮から、「おやつ通信」では「鉄分とカルシウム」「食物アレルギー」に関する情報などを職員に提供することで、「食育」への意識を高める取り組みを行っています。

なお、「おやつ通信」は職員向けに始めたものですが、現在は協議会のホームページからどなたでもご覧頂くことができます。協議会では、今後も「食育」という観点から、おやつや昼食提供にあたっては、食の安全や栄養面等に注意しながら子ども達の成長を見守ってまいります。



# 俳句・川柳！つくってみました！

あおげわくわくクラブ編

あおげわくわくクラブでは、この冬の新しい遊具として、カードゲームの「57577ゴーシチゴーシチシチ」を購入しました。5音カードと7音カードを組み合わせて、最も良い短歌を作った人が勝ちです。どの短歌が良いかは多数決で決めています。このゲームが「面白い！」と、短歌作りを楽しんでいる様子が見られたので、支援員の方から「カードなしで自分で考えてみない？」と誘ってみたら「いいよ～」「やる～」との嬉しい返答が返ってきました。短歌は音数も多く少し難しいことから、「五七五」で俳句のように作ってみようかということになりました。俳句には季語が必ず入りますが、季語のないものは川柳になりますので、季語にはこだわらず「冬・冬休み・新年・お正月」と子どもたちが分かりやすいテーマの中から、子どもたちの感じたこと、日頃の想い、希望を表現することにしました。これからもクラブでは「友達がたのしそうに遊んでいるから、自分もやってみようかな？」「上級生の短歌かっこいい！私も作ってみたい！」と言葉に興味を持つ子が増えていけばと思っています。感性豊かな子どもたちの作品を一部ではありますが、ご紹介します。



## お正月 羽子板遊んで 楽しいな MANA (2年生)

- 昔からのお正月遊び ずっと守りたい伝統ですね

## 初雪は どんな雪かな 見てみよう いろ葉 (4年生)

- 雪を楽しみにしている様子が微笑ましい一句ですね

## 夜ご飯 冬といたら おなべだね めい (4年生)

- 寒い冬をおいしいお鍋料理で乗り切れそうですね

## 夕ご飯 おなべはとくに もう飽きた GK (4年生)

- 子どもらしい素直な表現が微笑ましい一句ですね

## 儂さに 心うばわれし 雪のつぶ 由芽野 羽香 (5年生)

- 本を読むことが好きな5年生の作品です。今年の初雪ではどんなことを想ったのでしょうか・・・

## 新学期 新しいことに チャレンジだ あい (4年生)

- 積極的な様子が嬉しいですね

## こたつには ねことみかんが おいてある 徹志 (4年生)

- 家庭の温かさが伝わってきますね

## ゆきだるま いろいろあるけど オラフもね あいり (4年生)

- どんな雪だるまを作りましたか？

## 正月の 一つの楽しみ 初もうで 海原 泉 (5年生)

- 今年はどうな初詣だったかな？

## 寒いけど たくさん笑えば あったかい 美簡重酢 (6年生)

- ペンネームはミカンジュースと読みます。笑いは万葉の長！今年もたくさん笑ってね



あおげわくわくクラブの皆さん、ありがとうございました。

短歌カードゲームの「57577」は、ルールを理解する「理解力・思考力」、何人かの友達と誘い合い遊ぶので、友達の作品も認める・誉めるなどの「社会性・コミュニケーション力」、そして短歌を考えるうえで「言語能力・表現力・想像力」など子どもたちの潜在能力に良い刺激を与えてくれます。各クラブでは、いろいろなことをスポンジのように吸収していく子ども達に、どんな遊具を提供しようか？どんな遊びを提案してみようか？遊びを更に発展させるには？等保育の向上に努めています。

短歌カードゲーム「57577」 幻冬舎

「雨のなか」「海を見ながら」のような素朴なワードから、「プニプニの」「ヤッホホゴリラ」のようなオモシロワードまで、歌人が厳選した100語を収録。自由に書き込める空白カードも使えば、作れる短歌の組み合わせは4億通り以上。

対象年齢：8歳以上 対象人数：3～8人



## その1 たこたこあがれ！

お正月といえば、たこあげ、カルタとり、羽根つき...いろいろな遊びがあります。学童では、ボードゲームや既存のおもちゃのほかにも、季節を感じる伝承遊びも生活の中に取り入れています。

つばめクラブでは冬休みに入ってから、子どもたちと一緒に『ぐにゃぐにゃたこ』を作りました。このたこはビニール袋とストローを材料に作ります。「え～こんなたこ、あがるの？」と、みんな不安げです。校庭に出て、風が吹いて、「今だ！」と手を放し、少し走ると、たこはみるみる空にあがります。「わ～～！」と子どもたちは、たこと一緒に駆け出しました。「たくさん走っちゃったから疲れたよ」という子どもの顔は満点の笑顔です。

なかには、たこのバランスを崩し、そのまま引きずってしまう子も...。「ストローの中に、砂が入っていない？重くなるとたこは飛ばないよ。」と声をかけると、「そっか」と砂を落とし、またチャレンジします。やりはじめの頃は、とにかく走ってたこをあげていましたが、そのうちに風に乗せてたこをあげることが出来るようになりました。それでも、走り回ることが楽しいようです。冬休みは、毎日「たこあげ、やる！」と、元気に校庭中を走り回っていました。



わあ～！上がってる～！と子どもたちの歓声が聴こえてきそうです。(^^)

ビニール袋とストローとたこ糸だけ。作り方も簡単♪

たこの完成！

## その2 一年の始まり！みんなの願い！

古代の日本では、祈願の際には神様に「本物の馬」を献上していたそうですが、時代とともに、木・紙・土などで作った馬、そして現代の木の板に書いた馬「絵馬」に願いを書くように変化していったそうです。本来は神社等に奉納することが多い絵馬ですが、自宅の神棚等目線より高い位置に飾っておいてもよいそうです。

今年のつばめクラブの絵馬は金色！ご利益がありそうですね。大事なものは、心をこめて願いを書くこと！

「コロナが早くおさまりますように」「家族みんなが健康でいられますように」「英検合格！」「漢検合格！」願いは様々ですが、みんな心をこめて書きました。

### みんな、新しい年も楽しく、元気に過ごそうね！



絵馬に想いをこめて！  
金色の絵馬！おみくじシールも貼りました♪



### 編集後記

新年の「協議会だより」では、新しいものとして「オンライン会議」を、古き良きものとして「伝承遊び等」がありました。これからの時代を成長していく子ども達はデジタル化に対応していかなければなりません。学校での作業ではセキュリティに守られています、自分でもインターネット等で危険なことを回避できるようになっていかなければなりませんね。

学童では、遊びや生活を通して「自分で考える力」が育っていくよう支援していきます。そして、協議会の各クラブもデジタル化により事務時間の短縮を図り、常に保育力の向上を考え、成長していきます。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

久喜っ子の  
安全基地



発行 / 一般社団法人  
久喜市学童保育運営協議会

〒346-0013  
久喜市青葉1-2-2 地域交流センター内  
TEL 0480-24-3922  
FAX 0480-24-3924  
メール :kukigakudou@feel.ocn.ne.jp  
ホームページ:<http://www.kukigakudou.jp/>